

次世代シーケンスを用いた遺伝子解析研究に参加した事がある患者様へ

研究に関するお知らせ

研究課題名：シングルセル解析による骨髄異形成症候群や骨髄異形成に関連した異常を伴う急性骨髄性白血病に対してのアザシチジン作用機序の解明

令和2年7月27日

研究責任者 氏名・所属：臼杵憲祐 血液内科

私共の診療科では、白血病など血液の病気のより精密な診断法とより良い予後予測と治療法を開発するために、患者様の血液や骨髄液を用いて病気に関連する遺伝子の研究を行っています。

このたび、東京大学医科学研究所とともに骨髄異形成症候群や骨髄異形成に関連した異常を伴う急性骨髄性白血病と診断され、アザシチジン治療を受けられた患者様の骨髄細胞の遺伝子異常を解析し、さらに治療前後の骨髄細胞でおこっている遺伝子発現の変化を、シングルセル解析という手法を用いて1つの細胞単位で解析する研究を実施することにしました。この研究の目的は、アザシチジン治療の反応性や予後に関係する遺伝子を明らかにし、さらに診療情報と組み合わせる事でより精密な予後予測法を開発すること、また薬剤抵抗性の原因を突き止め、それを改善することです。この研究では、患者様の血液や骨髄液などから採取したDNA、骨髄細胞などの試料ならびに診療情報が必要となります。つきましては、下記に該当する患者様の診療情報と試料を使わせていただきますこととお知らせいたします。

診療情報を使用させていただくにあたっては、個人情報厳重に保護*しますのでご安心ください。

※診療情報から個人識別情報（氏名、住所、電話番号、生年月日など）を取り除き、代わりに新しく符号をつけます。個人識別情報と符号を記した対応表は本研究の個人情報保護責任者が厳重に管理致します。

対象となる患者様：

当科を受診され、骨髄穿刺検査によって骨髄異形成症候群や骨髄異形成に関連した異常を伴う急性骨髄性白血病と診断され、アザシチジン治療を受けた、または今後受ける可能性がある患者様で、特に血液疾患や悪性腫瘍に関する次世代シーケンスを用いた遺伝子解析等の別研究に参加して、試料・情報の二次利用に同意頂き、試料・情報が保存されている患者様にご協力をお願いしております。

ご協力いただくこと：

以前にアザシチジン治療を受けた方

入院あるいは通院期間中に採取された骨髄液などの検体から抽出したDNA、骨髄細胞などの試料、ならびに当該期間中の診療情報（病名、病期、治療の内容と効果、副作用、臨床検査結果等）や研究で得られた次世代シーケンスを用いた遺伝子解析による結果を研究に利用

させていただきます。

これからアザシチジン治療を受ける方

診療で必要時に受ける骨髄検査（診断時、効果判定時、再発時等）の残余検体から、骨髄細胞、DNA を抽出させていただき研究に利用させていただきます。また、当該期間中の診療情報（病名、病期、治療の内容と効果、副作用、臨床検査結果等）や研究で得られた次世代シーケンスを用いた遺伝子解析による結果を研究に利用させていただきます。

研究期間：

当院許可日～2024年9月30日

研究に関するご質問等がございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が本研究に利用されることについて拒否をご希望の場合には、下記の連絡先までご連絡ください。

<連絡先>

NTT 東日本関東病院

〒141-8625

東京都品川区東五反田 5-9-22

TEL：03-3448-6109

研究責任医師：血液内科部長 氏名 臼杵憲祐